

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 12 月 26 日(2024.12.26)

【公開番号】特開 2024-90339(P2024-90339A)  
【公開日】令和 6 年 7 月 4 日(2024.7.4)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-124  
【出願番号】特願 2022-206181(P2022-206181)  
【国際特許分類】

A 63 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 651

A 63 F 5/04 631

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 12 月 18 日(2024.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の部品が配置される第 1 面部と前記複数種類の部品のリード線が半田付けされる第 2 面部とを有する所定の基板を備え、

前記所定の基板を収容する基板ケースを備え、

前記複数種類の部品には、第 1 部品と、第 2 部品と、第 3 部品とが含まれ、

前記第 1 部品はリード線 1 a とリード線 1 b を有し、

前記第 2 部品はリード線 2 a とリード線 2 b を有し、

前記第 3 部品はリード線 3 a とリード線 3 b を有し、

30

前記第 1 部品のリード線 1 a は前記所定の基板のスルーホール 1 c に前記第 1 面部側から挿入され、

前記第 1 部品のリード線 1 b は前記所定の基板のスルーホール 1 d に前記第 1 面部側から挿入され、

前記スルーホール 1 c と前記スルーホール 1 d とを結んでなる仮想線分を所定の仮想線分 1 とし、

前記第 2 面部から突出した前記リード線 1 a は、前記所定の基板を所定の向きにした状態で前記第 2 面部を平面視したときに、前記所定の仮想線分 1 に対する角度が n 1 度であり

、

前記第 2 面部から突出した前記リード線 1 b は、前記所定の基板を所定の向きにした状態で前記第 2 面部を平面視したときに、前記所定の仮想線分 1 に対する角度が n 2 度であり

40

、

前記第 2 部品のリード線 2 a は前記所定の基板のスルーホール 2 c に前記第 1 面部側から挿入され、

前記第 2 部品のリード線 2 b は前記所定の基板のスルーホール 2 d に前記第 1 面部側から挿入され、

前記スルーホール 2 c と前記スルーホール 2 d とを結んでなる仮想線分を所定の仮想線分 2 とし、

前記第 2 面部から突出した前記リード線 2 a は、前記所定の基板を所定の向きにした状態で前記第 2 面部を平面視したときに、前記所定の仮想線分 2 に対する角度が n 3 度であり

50

—  
前記第 2 面部から突出した前記リード線 2 b は、前記所定の基板を所定の向きにした状態で前記第 2 面部を平面視したときに、前記所定の仮想線分 2 に対する角度が  $n 4$  度であり

—  
前記第 3 部品のリード線 3 a は前記所定の基板のスルーホール 3 c に前記第 1 面部側から挿入され、

前記第 3 部品のリード線 3 b は前記所定の基板のスルーホール 3 d に前記第 1 面部側から挿入され、

前記スルーホール 3 c と前記スルーホール 3 d とを結んでなる仮想線分を所定の仮想線分 3 とし、

前記第 2 面部から突出した前記リード線 3 a は、前記所定の基板を所定の向きにした状態で前記第 2 面部を平面視したときに、前記所定の仮想線分 3 に対する角度が  $n 5$  度であり

—  
前記  $n 1$  度と前記  $n 3$  度は略同一の角度であり、

前記  $n 2$  度と前記  $n 4$  度は略同一の角度であり、

前記  $n 1$  度と前記  $n 5$  度は異なった角度であり、

前記所定の基板の前記第 1 面部には情報表示ランプが配置され、

前記基板ケースにおいて、前記第 1 面部が視認可能な所定面に前記所定の基板を識別可能な情報を有するシールが貼付され、

前記シールは、前記所定面の正面視において、前記情報表示ランプと重ならない位置に貼付されている遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る遊技機は、複数種類の部品が配置される第 1 面部と前記複数種類の部品のリード線が半田付けされる第 2 面部とを有する所定の基板を備え、前記所定の基板を収容する基板ケースを備え、前記複数種類の部品には、第 1 部品と、第 2 部品と、第 3 部品とが含まれ、前記第 1 部品はリード線 1 a とリード線 1 b を有し、前記第 2 部品はリード線 2 a とリード線 2 b を有し、前記第 3 部品はリード線 3 a とリード線 3 b を有し、前記第 1 部品のリード線 1 a は前記所定の基板のスルーホール 1 c に前記第 1 面部側から挿入され、前記第 1 部品のリード線 1 b は前記所定の基板のスルーホール 1 d に前記第 1 面部側から挿入され、前記スルーホール 1 c と前記スルーホール 1 d とを結んでなる仮想線分を所定の仮想線分 1 とし、前記第 2 面部から突出した前記リード線 1 a は、前記所定の基板を所定の向きにした状態で前記第 2 面部を平面視したときに、前記所定の仮想線分 1 に対する角度が  $n 1$  度であり、前記第 2 面部から突出した前記リード線 1 b は、前記所定の基板を所定の向きにした状態で前記第 2 面部を平面視したときに、前記所定の仮想線分 1 に対する角度が  $n 2$  度であり、前記第 2 部品のリード線 2 a は前記所定の基板のスルーホール 2 c に前記第 1 面部側から挿入され、前記第 2 部品のリード線 2 b は前記所定の基板のスルーホール 2 d に前記第 1 面部側から挿入され、前記スルーホール 2 c と前記スルーホール 2 d とを結んでなる仮想線分を所定の仮想線分 2 とし、前記第 2 面部から突出した前記リード線 2 a は、前記所定の基板を所定の向きにした状態で前記第 2 面部を平面視したときに、前記所定の仮想線分 2 に対する角度が  $n 3$  度であり、前記第 2 面部から突出した前記リード線 2 b は、前記所定の基板を所定の向きにした状態で前記第 2 面部を平面視したときに、前記所定の仮想線分 2 に対する角度が  $n 4$  度であり、前記第 3 部品のリード線 3 a は前記所定の基板のスルーホール 3 c に前記第 1 面部側から挿入され、前記第 3 部品のリード線 3 b は前記所定の基板のスルーホール 3 d に前記第 1 面部側から挿入され、前記スルーホール 3 c と前記スルーホール 3 d とを結んでなる仮想線分を所定の仮想線分 3

とし、前記第 2 面部から突出した前記リード線 3 a は、前記所定の基板を所定の向きにした状態で前記第 2 面部を平面視したときに、前記所定の仮想線分 3 に対する角度が  $n$  5 度であり、前記  $n$  1 度と前記  $n$  3 度は略同一の角度であり、前記  $n$  2 度と前記  $n$  4 度は略同一の角度であり、前記  $n$  1 度と前記  $n$  5 度は異なった角度であり、前記所定の基板の前記第 1 面部には情報表示ランプが配置され、前記基板ケースにおいて、前記第 1 面部が視認可能な所定面に前記所定の基板を識別可能な情報を有するシールが貼付され、前記シールは、前記所定面の正面視において、前記情報表示ランプと重ならない位置に貼付されている。

10

20

30

40

50